

臨床データ利用のお願い

江南厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名：DPC データおよび JANIS データを用いた新規抗菌薬サーベイランスに基づいた抗菌薬適正使用支援活動の評価

1. 研究の対象

2019 年 1 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日の間に当院に入院した方

2. 研究の目的・意義

抗菌薬を不適切に使用することで薬剤耐性菌が増加する可能性があり、多くの病院では抗菌薬の使用動向を確認しています。抗菌薬の使用動向の指標としてよく使用されるのは DOT (Days of therapy) ですが、得られる情報が限られています。そこで、多くの病院で作成されている DPC データと厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業の検査部門データ（以下、JANIS データ）を用いて、より詳細な情報を得ることができるシステムを開発しました。本研究では、開発したシステムの有効性を検証することを目的として研究を行います。

3. 研究方法

2019 年 1 月から 2023 年 12 月の DPC データおよび JANIS データを用いて、医療関連感染症や市中感染症における抗菌薬使用状況や検出菌の動向を可視化します。データの可視化を行った評価を 2022 年 12 月～2023 年 5 月の DPC データおよび JANIS データを用いて行います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、DPC データおよび JANIS データが使用されます。これらのデータには性別や生年月日、病名、使用薬剤や検査実施データ、培養検査結果等の情報が含まれます。

5. 外部への試料・情報の提供

この研究で得られた患者さんの情報は各参加施設で個人情報が特定できない状態に加工したうえで研究代表者所属施設に提供が行われます。

6. 研究組織・研究分担者

研究代表者：豊田厚生病院 薬剤部/名城大学大学院 薬学研究科 酒井幹康

共同研究機関：安城更生病院、渥美病院、江南厚生病院、海南病院、稲沢厚生病院、足助病院、知多厚生病院、名城大学薬学部

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

施設研究責任者：江南厚生病院 薬剤部 平尾祐樹

〒483-8704

江南市高屋町大松原 137 番地

電話：0587-51-3333（代表）